

<火打山妙高山登山> 感想文

伊藤(典)

宿泊登山をするときに気になることといえば、まずちゃんと眠れるか、いつもの生活リズムが崩れることによる体調の変化、さらに 2000mを超える山は高山病の心配、そしてお天気。10月12日から14日の3連休はばっちり晴天に恵まれ、お天気はクリア！睡眠に関しては、とにかくひたすら目をつぶっていたが、窮屈なインナーシートの中で何度も寝返りを打ち、時の流れは非常に遅く、記憶をなくしていたのはほんの一瞬しかなかったように思える。慣れない早寝早起きと、常に時間に追われてはいたが、体調はまずまず。アリナミンAの効き目は恐るべし。一番の心配だった高山病も今回はクリア!! 息をゆっくり出し切って大きく息を吸い込む呼吸の仕方を、意識しながら登ったのが良かったのだと思う。3000m級の山々でも適応できれば高山病も克服か!!火打山と妙高山の頂上からの眺めは素晴らしかった。日本アルプスが見渡せるのだが、どれがどの山なのかさっぱり理解できずにもったいない話だ。が、さすがに富士山はOK! 気分が高まった。山の緑の木、赤と黄色に染まった木、白くなってる木と、真っ青に澄んだ空との色合いの美しさ、特に天狗の庭の池に移る逆さ火打はそのまゝ絵画にして飾りたくなるほど美しかった。妙高山の下りでは疲れもピークに達し、足の踏ん張りも弱まり2度もすってんころりんとなってしまう、後ろからは「やったあー」と笑われ、前からはまたいつ転ぶかとニタリ顔でわざわざ振り返って待たれ、余計に緊張した。だから半分以上ケーブルで下山できたのは非常に助かった。11分間の空の旅は楽ちんでほっとした。帰宅はなんと午前2時。帰るコールも無視され家族はすっかり夢の中。午前様でこっそり帰る世の旦那様の気持ちが少しわかった気がした。

最後に、何度も計画を練り直して下さった CL 様、長時間運転を担当して下さった方々、そして同行の皆様、素晴らしいひと時をありがとうございました。最高の山行でした。

若林

今回の登山企画は我が会の現役最長老 Y さんで以前登頂して目に焼き付いている見事な紅葉の妙高山に是非再度挑戦したいとの強い信念を感じ、個人的にも半世紀近く前に上った妙高山とスキーに何度か訪れハプニングを体験した妙高山に再度挑戦したい山でも有り、思いが一致 今回は Y さんの志を理解された仲間達 11 名で 10 月 12 日松井山手を車二台で出発。ある程度三連休のスタートでも有り渋滞予測も中央高速長野道路は予想通り大渋滞 12 日は移動日でも有り安価で調理道具も整った京大ヒュッテに到着後、近場散策等目論むも此れは実現出来ず。

ヒュッテ内の設備も問題なく京大関係者との話しも弾んだ楽しいひと時を過ごし満点の星空には満足。13日6時(am)前に一路火打山へ。火打山には7名で登頂。紅葉は今年の異常気象が影響か ナナカマドは実のみ残り葉は枯れて落葉しており残念では有った。

下山後4名の仲間が待つ黒沢池ヒュッテに宿泊も10月20日以降休業との事で暖房設備も無く男性全員が疲労プラス寒さで脚ツリ対応に苦慮。しかし今夜の空も満天の星空には恵まれた。14日6時前(am)妙高山に向け出発。この日も雲一つ無い好天。霜が降りていた影響か日陰では泥濘場所も有ったが2日間で20時間(休憩込み)20.0km歩き終え全員で妙高山登頂下山後杉野沢温泉『苗名の湯』にて疲れを癒し帰りは北陸道を利用して帰路も行楽と工事の影響で帰宅は15日の2時(am)到着。紅葉 今年駄目でしたが、天気には恵まれ楽しい仲間との山行 Y さんの頑張りに改めて敬服。仲間と火打山 妙高山 登頂出来た事には非情に満足。

長距離運転のお二方ご参加の皆さん
本当にお疲れ様でした。



【京大ヒュッテ】

山下

入会して2年目の10月初め(H13, 2001年)の市民秋山登山の折に、妙高山周辺が計画され、4コースが設定された。その一つが火打山・妙高山でベース小屋の高谷池小屋に泊まった。小屋周辺の絶景は忘れることができず、再度登りたい山の一つだった。すでに 保険にも入れない85才になり高山は昨年の立山を最後にと思っていたが、最後の最後と思い昨年の秋に例会にエントリーした。

きつい登りは4hr以上と想定され 体力作りに励み 自分には珍しく2回のトレーニング登山に励む。皆さんの援助もあり 先頭を歩かせてもらい、ユルリユルリと高谷池ヒュッテに着いた時の天狗平の景色は23年前と同じく 天気も味方し、小金色に輝き 最高だった。翌日の妙高山も天気に恵まれ360度の展望!! 仲間にも 3日間の晴天にも恵まれ 信心深くない自分だが 神様・仏様に感謝の山旅だった。「念願の火打・妙高に登れた」と知人に大きな声で言いふらしたい気持ちだ。



【天狗平】



【妙高頂上】

※火打山の写真は、表紙に使わせていただきました。(会誌部より)